



2005 国勢調査

～あなたの調査票には日本の、南あわじ市の大切な未来がつまっています～

10月1日現在の状況をご記入ください！

Q 国勢調査ってなに？

A 国勢調査は、日本に住んでいるすべての人を対象とした、国の最も基本的な統計調査です。国内の人口・世帯などの実態を把握するためにおこなわれています。国勢調査の「国勢」とは、「国の情勢」を意味します。

Q 調査の方法は？

A 9月下旬から国勢調査員が、市内全世帯を訪問して調査票を配布し、10月1日現在の状況を調査票に記入していただきます。そして、10月上旬に再度各世帯に訪問して調査票を回収します。必ず鉛筆で記入してください！

Q 国勢調査員は、どんな人なの？

A 調査票を配布、回収する国勢調査員は、市長の推薦に基づいて総務大臣が任命する非常勤の国家公務員です。各自治会より推薦していただいています。

Q どんなことを調べるの？

A 男女の別・出生の年月・国籍・就業状態・通勤・通学地などを世帯員一人一人について調べます。また世帯の種類・世帯員の数・住居の種類など世帯についても調査します。

Q 調査結果は、どんなことに使われるの？

A 各種行政施策（都市計画や社会福祉、経済政策、防災計画）の基礎資料としてまた、議会議員の数の決定、地方交付税交付金の算定基準などに活用されます。

総務省・兵庫県・南あわじ市

衆議院議員総選挙の結果

9月11日に衆議院議員総選挙が行われ、小選挙区選出議員選挙（兵庫県第9区）では、西村やすとし氏が当選しました。当市における投票結果は次のとおり。

当日有権者数 44,205人
投票者総数 32,303人
投票率 73.08%

※小選挙区選出議員選挙の数値

平成18年南あわじ市成人式



- ◆日時 平成18年1月8日（日）13:30～
 - ◆会場 文化体育館（北阿万筒井）
 - ◆問い合わせ 生涯学習文化振興課 ☎37-3020
- ※詳細が決まり次第広報紙等でお知らせします。

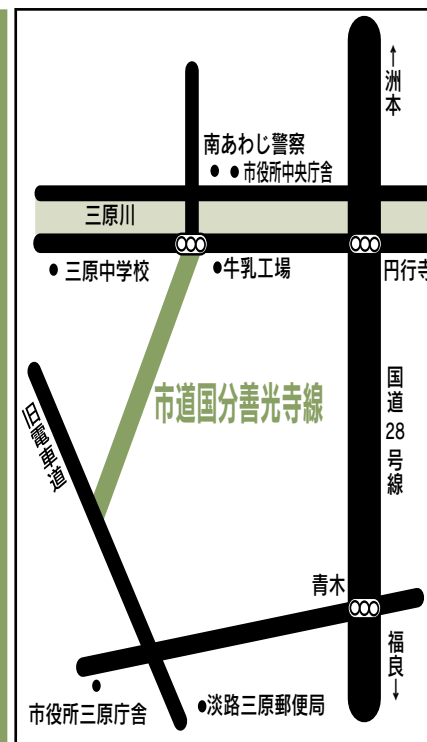


▲人権研修会を実施

南あわじ市では「人権尊重

のまちづくり」を掲げ、人格を認め合い共に生きるまちづくりを推進しようと、全職員を対象に「人権研修会」を行いました。講演では、部落開放同盟南あわじ市連絡協議会の事務局長から体験談が話され、続いて淡路教育事務所の人権教育推進員から障害者や高齢者への人権問題解決への提言が行われました。

市役所全職員を対象に人権研修会を実施



市道国分善光寺線が九月一日、開通しました。この道路は平成十年に着工し、総延長七百八十メートル、歩道路肩を含む総幅員が十一

市道国分善光寺線が開通

メートルになります。

幹線市道を結ぶ道路の完成により中学校通学路の安全確保と市民生活、産業振興に大いに役立ちます。

結果を公開中

地域情報化市民アンケート

市民の情報化の現状とニーズを把握するために「地域情報化市民アンケート」を六月に実施し、その結果が南あわじ市のホームページ（<http://www.city.minamiawaji.hyogo.jp/>）で公開しています。この結果は南あわじ市の地域情報化計画の策定に役立てられます。ご協力いただいた約一千人の皆さん、ありがとうございました。なお、来月号の広報紙では概要を紹介いたします。◆問い合わせ 情報課 ☎43・5003

道路・航路に影響

台風14号の通過

九月四日から七日にかけて九州に接近・縦断した台風14号の強風や高潮で、市内各地で影響が出ました。

主なものは次のとおり。

- ▼欠航 沼島汽船…四日朝～七日昼 ▼通行止め 大鳴門橋…六日昼～七日早朝、県道洲本南淡線（灘土生～洲本市中津川）…五日昼～七日夜、市道阿万一五〇号線（丸田・

年金だより

会社員の妻など

扶養配偶者も届出が必要

会社員などの扶養配偶者で、二十歳以上六十歳未満の方（第三号被保険者）は自ら国民年金の保険料を納める必要

要はありませんが、第三号被

保険者としての届出が必要です。

届出が遅れたり、おこたつたりしますと、将来年金が受けられなくなる場合があります。必ず届出を行なってください。

届出は配偶者の勤務先を経由して届出します。（健康保険の扶養届と第三号被保険者の届出を同時に行います）また、昭和六十一年四月以降、届出を忘れていた期間のある方は、さかのぼって「第三号被保険者期間」として認められる「特例届出」ができますようにしました。

詳しくは、明石社会保険事務所（☎078・912・4916）へお問い合わせください。

- 姫田川河口付近）…六日昼～七日朝 ▼自主避難 南淡公民館四人、三原公民館二人、丸山地区公民館十一人、三原志知公民館六人、湊活性化セン

ター一人 ▼停電 約千三百軒

▼累計雨量（五日～七日）

緑六五ミリ、西淡九二ミリ、三原一二四ミリ、南淡一〇五ミリ。

ふれあい市長室

地域の活力は人

南あわじ市長 中田勝久

天高く馬肥ゆる好季節を迎えましたが、味覚を大いに楽しみ過ぎ、食飲旺盛な人達には夏バテ回復を通り過ぎて、今度はダイエットにと気を配る光景が目につく小生です。

さて、新市発足後初めての敬老会が九月十九日敬老の日

に市内旧町単位の四か所で、

婦人会、女性会の皆様方の世話を頂き開催され、健康で長寿をまっとうすることの喜びを市民の皆さまで祝福いたしました。現在六十五才以上の方は市全体で約一万四千人、高齢化率は二十五・五％

になっております。今後、少子高齢化は益々進み、人口動向予想で淡路島全体の人口が四十五年後、現在より五万五千人減になると予想されています。少子化対策

は実践あるのみと考え、本年度予算の中で新たに保育所・幼稚園の同時入所時の一人分の保育料を無料化、三歳児までの通院費と入院費の無料化、更に三歳児から就学前までの子ども一回当たりの医

私の持論は「地域の活力は人」であります。これからの

南あわじ市の飛躍に高齢者の方々の経験と知恵、市民の力強い参画をお願いし、敬老の日を迎えられた方々に、心からのお祝を申し上げます。